

薬剤の使用にあたっては、各薬剤の添付文書等をご参照ください。添付文書等の改訂にご留意ください。

*1 インフルエンザウイルス（咽頭を含む）小型タイプ：アデニウイルス、コクサッキーウィルス類のエンテロウイルス、ノロウイルス、ロタウイルス等

*1エンペローブウィルス(膜質を含む小脳サイン):アチノウイルス、コクシ

*2 エンペラーフィルムス(スヌードル・サウザンドライバー)、インブルエンペラーフィルムス、ヘルベスペイリムス
*3 HBV・HCV：西脇によれば「(うつしがみられる)記載があるものは80%弱エタノール、70%弱インプロパンール、ボビドンヨードである。」

*SHBV・HCV：評議にハラフとかめられた記載がある

*In vitro*における触媒活性を基づく(ネコカリシウイルスF-8、マウスノロウイルス、アデノウイルス5型、ロタウイルス、ポリオウイルスI型)

微生物：□…有效　△…十分な効果が得られないことがある（報告により断面に「△」が記される）　×…無効

微生物: ○…有効 △…十分な効果が得られないことがある(薬局により評価にバラつきがある)
対象物: ○…使用可 △…部位や場合により異なる ×…使用不適 ◇…注意して使用

注1：治療薬選用一覧は、治療効果に関する危険報告、各種治療剤の特性・効能・効果、害用性評価総合的に検討し作成したもの

注1：消毒用器具一覧は、消毒効率に関する口座報告、口座消毒用の付録、効能・効果